

所属学科 ドイツ語学科		特任教授	相澤 啓一	大学院の授業担当 有
<b>教育活動</b>				
教育実践上の主な業績		年月日	概要	
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)				
1	通訳者養成教育の実践と、そのノウハウのドイツ語中・上級授業への応用	1990年以降	会議通訳(逐次・同時)の経験を活かし、通訳者養成の授業をGoethe-Institutや外務省講師として、また意欲ある学習者を対象とする日独の自主勉強会でのボランティア講師として、実践を続けている。大学におけるドイツ語教育においても、そこから得られた知見をなるべく分かりやすく伝え、実践する試みを続けている。	
2	インターウニ	1990年以降	全国でドイツ語を学ぶ大学生を100名ほど集め、意欲あるさまざまな大学教員の協力を得て行うドイツ語合宿セミナーを毎年春(初心者向け)・夏(院生向け)に主宰してきた。当初(東北大震災まで)は春に獨協大学新甲子研修所を利用していただいた。意欲ある学習者に対しさまざまな実験的教授法を試みることで学生の学習意欲を高め、外国語の初級を大学生らしい知的関心と結びつけることを目指し、他方で教員間の情報交換を行った。ドイツ語学習を始めて2年日以降の学生の独又講読・独作文の授業において、留学中の交換留学生を正規参加者として積極的に招き、日独両言語を授業での使用言語としながら双方向の授業を展開・定着することに成功した。	
3	交換留学生の授業での活用	2010年代	筑波大学においては日独韓の共同修士課程を設立した。日独韓の学生たちがそれぞれの言語を対等に使用する環境で3大学を巡回して2つの修士号を獲得するプログラムを実施したことにより、外国語学習は修士課程の研究と内容的に深く連動し、3カ国の学生たちが助け合いながら対等に外国語を学ぶ環境を実現して学習効果を高めた。	
3	日独韓共同大学院(TEACH)	2013年以降		
2 作成した教科書、教材、参考書				
1	『CDブック NHK新ドイツ語入門』(2006年、NHK出版)		NHKラジオ・テレビ講座において初級ドイツ語を教える機会を得た。成人向け語学教育なので敢えて文法中心としたが、文法学習を自己目的とするのではなく、実践的・効率的な学習カリキュラムとして使えるよう文法の教え方や項目を独自に大幅に見直した。テレビ的にある程度面白いことが求められる講読・会話部分では、未習文法項目が絶対に出ないこととする原則を徹底して体形化しつつ、ふつう初級文法では扱わない、しかし必要な高度な文法事項も敢えて採り入れて火星人の王子さまをめぐるおとぎ話を作り、魅力的な映像とともに効率的な学習体系を構築した。	
2	まいにちドイツ語(NHKラジオ講座)	2011年4月～9月	日独150周年事業にあわせたNHKラジオ講座(上級)の依頼を受け、外国語学習を知的関心と結びつけることを目指した。そこで、日本の近代化とドイツ語がどのようにかわっているかをテーマに、日本についてドイツ語で書かれたオリジナル・テキストを選んで50回のシリーズを構成した。周年事業はともすると美談に流れがちだが、ボン大学ツェルナー教授とともに多様なテーマ・人物・テキストを発掘して、知的・批判的スタンスを失うことなく、ドイツ語を通して私たち日本人の立ち位置を考えさせるような刺激に満ちたシリーズとすることができたように思われる。	
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等				
1			「日独通訳とドイツ語教育」(2001年)など、上述したテーマに関しては、おりにふれて講演なども行い、研究論文としてまとめてきている。(主なものについては研究業績参照)	
2				
4 その他教育活動上特記すべき事項				
1	日独通訳者養成セミナー	2002年より	日独会議通訳に関心を持つ学習者をあつめた勉強会を月例会として主宰してきた。(海外赴任やコロナで現在中断中。)	
2	Deutsch-japanisches Dolmetscherausbildungsseminar	2011年より	ドイツでもハイデルベルク大学における日独通訳翻訳修士課程開設を機に、当時所属していた筑波大学やケルン日本文化会館の協力を得て、2011年から有志を集めた通訳者養成セミナーを開催してきた。	

所属学科 ドイツ語学科	特任教授	相澤 啓一	大学院の授業担当 有
学会等および社会における主な活動(学外の委員、役職等)			
年月日	活動内容		
2007-19	日本ドイツ学会理事		
2017-19	日本独文学会理事		
2001-	インターユニ実行委員		
2019-23	ケルン日本文化会館館長		
その他			
受賞歴: ボーフム市名誉メダル(Ehrenplakette der Stadt Bochum)(2022年11月11日授与)			